

ひとつのいのち。みんなのたしじないのち。

「命を大切にできる心を育む県民運動」を県民総ぐるみで推進するための情報誌

いのちつうしん

2021年度



令和3年度「笑顔の未来へ」メッセージ作品 図画部門 最優秀賞作品 田村 凜太郎さん(八戸市)

目次

- 命を大切にできる心を育む県民運動推進会議会長からのメッセージ 2
- 命を大切にできる心を育む県民運動推進フォーラム 3
- 「笑顔の未来へ」メッセージ作品募集事業 4～6
- 命を大切にできる心を育む地域との絆づくり応援事業 7
- 他人を思いやり命を大切にできる心を育む対話集会 8～9
- 県内一斉声かけ活動 10～11
- 青森県推奨図書、家庭の日、会員募集 12



命を大切にすることを育む県民運動推進会議 ～ 会長からのメッセージ ～

日頃から、朝の声かけ活動など様々な交流を通じて、子どもたちの見守りに御尽力いただいている皆様に深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、私たちの生活に依然として大きな影響を及ぼしており、これまで人々の繋がりを育んできた地域のお祭りやイベントのほか、学校生活やスポーツ・文化活動などの多くも様々な制約を受ける中で、子どもたちの交流体験の場や、日々の努力の成果を発揮し、達成感や充実感を得る



貴重な機会を如何にして確保・実現していくのかが喫緊の課題となっています。また、生活環境の変化により、心に負担を抱える子どもたちが増えるとの懸念も高まっています。

こうした状況にあるからこそ、子どもたちが、他人を思いやり、命を大切にすることを育むとともに、夢や希望を抱きながら自らの可能性を信じ、チャレンジしていくことにより、子どもたちの孤立感の解消や明るく前向きに未来へ進んでいく気持ちが醸成されるよう、私たちが今できることを真摯に考え、子どもたちにしっかりと寄り添い、支えていくことがより一層求められています。

これからも、命を大切にすることを育む県民運動がさらにすそ野を広げ、青森県の未来をつくる財^{たから}である子どもたちが、心身ともにたくましく健やかに成長していけるよう、地域全体で取り組んでいきましょう。

命を大切にすることを育む県民運動推進会議会長 三村 申吾

令和3年度、県では、下記の事業を実施しています。

- 命を大切にすることを育む県民運動推進フォーラムの開催
- 笑顔の未来へメッセージ作品の募集
- 命を大切にすることを育む地域との絆づくり応援事業の実施
- 他人を思いやり命を大切にすることを育む対話集会の実施
- 県内一斉声かけ活動の実施
- 子どもの夢・未来応援メッセージソング及び動画の普及啓発
- 相談先ステッカーの作成・配布



命を大切にすることを育む県民運動推進フォーラム

令和3年12月5日(日)に青森市において開催した、命を大切にすることを育む県民運動推進フォーラムの様をご紹介します。

講演 「出会いこそ、生きる力」

講師 サヘル・ローズさん

俳優のサヘル・ローズさんはイランに生まれ、8歳で養母とともに来日、高校生の時から芸能活動を始め、テレビ、ラジオ、映画、舞台などで活躍中です。講演では、学生時代にいじめにあったときの話等、ご自身の経験を交えながら、これまで様々な人々との出会いがあって今の自分が存在していることをお話しされました。そして、講演の中で次のようなメッセージをくださいましたので、一部をご紹介します。



- 人は一人で生きているのではなく、誰かに寄りかかりながら、互いに迷惑をかけながら生きていくものである。
- 人生は一度きり。周りに振り回されることなく、道がなくても自分でレールが引けるくらい自分の可能性を信じてどんどん挑戦してほしいし、失敗しても成功のための気づきになる。あなたが存在することは必ず誰かの生きがいになっている。
- この社会とともに生きていくために、私たち一人一人が社会に関心を持ち、今何が起きているのか、自分たちは今何をしているのか、意識して考えてほしい。
- 皆それぞれ、誰かをサポートするエネルギーを持っているので、それを自分のため、家族のため、人のために使ってほしい。

講演後の質問コーナーでは、たくさんの手が挙がり、サヘルさんは、その一つ一つに丁寧に答えてくださり、会場全体が暖かな雰囲気になりました。

青森県青少年健全育成成功労者表彰式



青少年の健全育成に尽力された個人受賞者12名のうち7名、団体受賞者1団体が表彰状を授与されました。

「笑顔の未来へ」メッセージ

優秀作品表彰式



令和3年度の最優秀賞及び優秀賞を受賞された8名の皆さんが賞状を授与されました。

「命を大切にすることを育む地域との絆づくり応援事業」活動報告

地域資源を活用して子どもたちに体験活動を提供しているモデル事例について、弘前市と青森市にある団体から活動の様子を紹介していただきました。



特定非営利活動法人 SEEDS NETWORK



青い森学生読み聞かせ団体ネットワーク

「笑顔の未来へ」メッセージ作品募集事業

県内の小・中学生及び高校生の皆さんから応募があった2,408点から、入賞作品を決定しました。入賞作品は令和4年度カレンダーとして、県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校に配付しているほか、県のホームページにも掲載しています。

図画部門

最優秀賞

田村 凜太郎さん (八戸市立西白山台小学校)



【作品説明】

夏休みに、家族でいそづりをしたところを描きました。ぼくは何もとれなかったけど、楽しかったです。

優秀賞

長尾 芳賢さん (青森市立堤小学校)



【作品説明】

みんなと、おさん歩したときに見た、さくら川のきれいなさくらをみんなえ顔でさくらがちっているすがたを見上げた時をかいた絵です。

入選



百目木 純さん
(十和田市立北園小学校)

【作品説明】

おとうさんとおかあさんとおにいちゃんとうみへいきました。かぞくでちからをあわせてかにやさかなをとったのしかったです。



笠井 彩未さん
(五所川原市立いずみ小学校)

【作品説明】

お盆に向けて、家族で仏間をきれいにしました。仏具が光るまでみがくのにかかったけど、先ぞに喜んでもらえたと思います。



木原 ハンナさん
(青森市立橋本小学校)

【作品説明】

この絵は、家族みんなでシャインマスカットがりにいった時の絵です。みんなと楽しくとれたのでうれしかったです。



河原木 咲希さん
(八戸市立桔梗野小学校)

【作品説明】

かぞくみんなで、ぎょうざをつくるひがたのしいです。つくったあとは、やいて、かぞくみんなでおいしくたべます。



佐藤 芙玲亜さん
(青森市立甲田小学校)

【作品説明】

弟の大好きなシャボン玉で遊びました。私が大きなシャボン玉を作ると、弟がとても喜んでくれました。弟の笑顔が私の宝物です。

メッセージ部門

小学生の部

最優秀賞

西山 心乃美さん
(十和田市立三本木小学校)

「めごい、めごい。」温かい手でほっぺをギュっとしてくれるお母さん。これからも、わたしの笑顔でしあわせにするからね。

【作品説明】 学校に行く前やおでかけする時に、かならずだきしめてくれる母に対して、感しゃの気持ちをこめて書きました。

優秀賞

橘 優風さん
(八戸市立城下小学校)

パパとママが手をつないでいるえをあげたら、かべにはってくれました。わたしは、みんなをえがおにするがかになりたいです。

【作品説明】 わたしは、かぞくのみんながわらってるかおがだいすきです。わたしのえをみて、パパとママがうれしそうにしていってうれしいです。

入選

斎藤 己睦さん
(五所川原市立東峰小学校)

いつまでも守って欲しいと願ってる。あなたの子に生まれ、あなたに育てられ私の赤ちゃんを見せたいよ。だから長生きしてください

原子 実滯さん
(青森市立金沢小学校)

小さいころからの夢。それは手話の先生。私の手話でだれかが笑顔になるはず。助かる人がいるはず。だから私はあきらめない。

村中 壺さん
(むつ市立関根小学校)

今年も会えなかった夏。お姉ちゃんにはいつ会えるのかな？笑顔で会える日を楽しみに待ってるからね。

葛西 健太郎さん
(五所川原市立東峰小学校)

大丈夫。お父さんがいつもぼくに言ってくれる、まほうの言葉。ぼくも大切な人に伝えていこう。お父さんからもらったまほうの言葉

中学生の部

最優秀賞

佐々木 望彩さん
(むつ市立田名部中学校)

友達が言った。「大丈夫。」私も言うよ、「大丈夫。」この6文字で、悩みがずっと晴れていく。悩みの雨が、言葉で晴れて、虹になる。

【作品説明】 今年出会った友達に悩みを相談したら、「大丈夫。」と認めてくれた嬉しさ、その言葉を友達にも広めたいなという思いを表しました。

優秀賞

石塚 凜さん
(むつ市立田名部中学校)

私よりも少し身長が小さいママ。だけど強くて、カッコよくて私を守ってくれるママ。貴方のような素敵な母親に私はなりたい。

【作品説明】 自分の言葉からは喋ることのできない思いを書きました。今の自分の思いが母に届いてくれればいいなと思いました。

入選

加藤 香漣さん
(青森市立東中学校)

つらいとき、苦しいとき、友達の笑顔や、親の言葉にたくさん助けてもらった。今度は私が、大事な人を笑顔にしていきたい。

櫻田 結衣さん
(青森市立南中学校)

「アピールじゃね？」って言われるかな。でも、未来の私を後悔させたくない。だから今日も正しいと思う行動をしよう。

成田 聖空さん
(八戸町立六戸中学校)

日本語が好きだ。桜が散る。雪柳が吹雪く。菊が舞う。美しくて繊細な言語を百年後にも伝えるために自然や文化を遺していきたい。

沢口 陽音さん
(八戸工業大学第二高等学校附属中学校)

「それでいいんだよ。すごいじゃん」先生のその一言でぼくのやる気スイッチがONになった。ぼくも先生みたいな大人になりたいな。

最優秀賞

工藤 希音さん
(千葉学園高等学校)

つまずいたからってすぐ諦めるのはやめよう。努力しているからこそつまずいたんだよ。今日も頑張っている君は凄いだから。

【作品説明】 挫折してしまう私に対して悔しい思いが込み上げてくるけど、それより「まず自分を褒めてみよう」という応援メッセージです。

優秀賞

和田 芽依さん
(県立三本木農業高等学校)

いつも、当たり前「明日」が来ると思っていた。そんな「明日」が来なくなるのが一番怖い。だから私は「今」を全力で生きる。

【作品説明】 今までは普通に生活してきたけど、当たり前だったことが急に当たり前ではなくなることがあり、後悔したくないと思ったから。

入選

大坂 穂高さん
(県立青森若葉養護学校)

未来に何があるかはわからない。今はまだ、白紙の未来に、色々な色をつけられるように、自分の色を増やしていきたい。

浅利 夕蘭さん
(県立黒石高等学校)

楽しい時、嬉しい時、一緒に笑ってくれる。苦しい時、辛い時、一緒に悩んでくれる。毎日を輝かせてくれる君に心からありがとう。

工藤 温葵さん
(県立六戸高等学校)

辛くて逃げたくなった時は、過去の辛かった事を思いだして笑おう。大丈夫、今心配な辛いことも、未来のあなたが笑っているよ。

高田 愛和さん
(千葉学園高等学校)

出来ない理由を探すより、出来るようになるための努力に時間を使おう。必ず自分の財産になり、自信に繋がるだろう。

♪ 子どもの夢・未来応援メッセージソング♪ 「笑顔の未来へ」配信中♪

子どもの夢・未来応援メッセージソング「笑顔の未来へ」は県のホームページから無料でダウンロードできます。

子どもたちが集まる様々な機会・イベントの際にBGMとして活用するほか、歌詞と楽譜を掲載していますので、合唱曲や合奏曲としても是非ご活用ください!



給食時の『昼の放送』で流しました♪

五戸町立倉石小学校

放送委員が昼の放送用に選曲し、放送したところ、その後の昼休みに、口ずさんでいる子どももいました。



命を大切に作る心を育む地域との絆づくり応援事業

子どもたちの地域社会との関係づくりを創出するとともに、生きる力の基礎となる自己肯定感を育むことを目的として事業を実施しています。公募により選定された令和3年度の事業受託団体による活動内容をご紹介します。

特定非営利活動法人 SEEDS NETWORK [弘前市]

私たちは共生・協働をテーマに、食・文化・教育を軸に様々な事業を行っています。今回は、社会体験プログラム「キッズハローワーク」を実施しました。これは、職業体験を通して自分の仕事が誰かの役に立っていることや社会に生かされていると実感することを目的としています。社会には暮らし方に合わせた役割のある仕事が必要です。社会の中で働くことは経済的・精神的な自立の一步であり、人とのつながりや互いに生かす関係性を以て地域社会が成り立っているということを、ポジティブにイメージしていけるようにプログラムを工夫しています。そして、こうした体験から自分のルーツ（根源）である青森を、「ここに生まれてよかった。青森の人はすてきななあ。」と思ってもらいたいと考えています。

参加した子どもたちは、地域の方と一緒に作業をしたことが楽しかった。仕事を教えてもらってうれしい。まちの中に140年以上も続いているお店があって驚いたなど、発見する喜びを感じています。これからも、明るい声が地域に届くような取り組みを続けていきたいと思えます。



青い森学生読み聞かせ団体ネットワーク [青森市]

私たちは、青森市とむつ市を中心に、図書館や保育所などで絵本の読み聞かせを行う大学生や高校生からなるボランティア組織です。

読み聞かせは、子どもたちの反応が即座に得られるという点で、とてもやりがいがある地域貢献活動です。この活動に参加する高校生の輪を広げることを目的に、2段階の取り組みを行いました。

まずは、「高校生のための読み聞かせボランティア講座」を開催し、高校生に、読み聞かせの基本技能を学んでもらいました。次にこの講座の受講生を私たちの実践活動に誘い、一緒に練習し、読み聞かせをし、反省会を行うという活動を繰り返しました。講座は、青森市で3回、むつ市で1回、大間町で2回開催し（延べ99名参加）、読み聞かせ実践活動は、受講生も参加して青森市で18回、むつ市で4回、大間町で1回実施しました（受講生延べ102名参加）。

まず私たちと受講生と一緒に活動することで、両者の絆が深まります。そして、絵本を仲立ちとして、受講生と子どもたちの絆が深まります。講座を受講し、実践活動に参加した高校生は、読み聞かせを通じた子ども達とのやり取りに充実感を得て、何回も参加した方もいました。

今後は、高校生が自分たちの力で活動受け入れ施設を開拓し、活動を継続できるよう支援していきたいと考えています。





他人を思いやり命を大切



三上 富士子
コーディネーター

生徒の他人を思いやり命を大切にする心を育むとともに、生徒と地域の大人との相互理解を促進し、信頼関係の構築を図ることによって、地域全体で子どもを見守る環境づくりを進め、また、生徒の孤立感の解消や明るく前向きに未来へ進んでいく気持ちの醸成を図ることを目的としています。

県立浪岡高等学校 (R3.7.14)



佐藤 洋介
コーディネーター

うまく話せなくても、じっくり考えていることが伝わってきて、参加してよかったと実感した。対話することが大事だと感じた。
(地域住民)

話しているときに、皆がうなずいてくれたり、最後には拍手をくれたりしたおかげで、自分の意見を素直に伝えることができた。自分の命は、自分一人だけではなく、家族や友達など周りの人々のおかげで成り立っていると思う。周りの人への感謝を忘れずに生きたい。
(高校生)

県立木造高等学校 (R3.11.11)



南部町立名川中学校 (R3.11.2)



平間 恵美
コーディネーター

たくさんの意見が出た。
しかも、全員違う意見。
自分の中の価値観や基準を
違う方向から見たら、もっともっと
いい方向に向かったので、
とても有意義な時間だった。
(中学生)

にする心を育む対話集会

「思いやり」と「命の大切さ」をテーマに、コーディネーターによるリードのもと、生徒・地域住民・大学生ボランティアが小グループに分かれ、自分の思ったことを話したり、他の人の意見に耳を傾けたりして、お互いの理解を深めました。

新型コロナウイルス感染症対策として、学校によっては、実施時間を短縮する等工夫しながら実施しました。

人と話をするとき、
最後まで聞く(聴く)こと！大人に
なるにつれ、守れなくなっているように
感じています。この機会にもう一度、
自分の日々の行動の振り返りの時間を
持つようにしたいと感じました。
(地域住民)

県立田名部高等学校 (R3.11.16)



県立八戸商業高等学校 (R3.11.12)



特別講師：中島 美華氏



県内一斉声かけ活動

～みんなの笑顔は地域のたから～



青森市立古川小学校

前期の活動を6年生で振り返り、よりよい学校を目指して、さらにあいさつに力を入れようと呼びかけました。



五所川原市立栄小学校

あいさつのシャワーで、明るく元気な学校にしようと、声かけ活動に取り組んでいました。



十和田市立洞内小学校

「あかるく、いつでも、さきに、つづけて」のテーマのもと、保護者や地域の方々と一緒にあいさつ運動ができました。



十和田市立松陽小学校

以前から実施していたPTA等による登校班見守り活動と連携して計4回実施できた。学校玄関前ではPTA役員を中心に毎回3～4名以上の参加協力をいただきありがたかった。



大鰐町立大鰐小学校

月初めの一週間、各学級から「あいさつボランティア隊」を募り、元気なあいさつが響き渡るよう、あいさつ運動を行いました。



東通村立東通小学校

全校のみんなが笑顔で一日のスタートができるように、児童会の担当委員会で心を込め元気にあいさつ運動をしてくれました。笑顔であいさつを返してくれる人が増え、みんながあいさつの大切さを意識してくれるようになりました。

五戸町立倉石小学校

全校であいさつ運動を実施することで、進んで元気にあいさつする子が増え、子どもたちのあいさつしようという気持ちが高まりました。



地域社会全体で子どもたちを守り、育てていこうとする意識を高めるため、県内小・中学校、高等学校及び特別支援学校において、4月、7月、8月、11月の合計4回「県内一斉声かけ活動」を実施し、地域の皆さんのご協力により明るいあいさつが交わされました。くまの形の反射材を配りながら活動を行った重点実施校13校をご紹介します。



青森市立新城中学校

校訓「恕」(思いやり)の精神を育む活動として、毎朝あいさつ運動が行われています。



大鰐町立大鰐中学校

青少年健全育成協議会や交通安全母の会など、地域の方々と一緒に元気に声かけ活動を行いました。



南部町立名川中学校

生徒会を中心に、委員会・部活動・学年で計画を立てて実施しています。「いつでも・どこでも・ひとりでも」を合言葉に、地域の人たちや毎朝利用しているコミュニティーバスの中でもあいさつをすることで、地域の一体感をつくりあげていきたいと思っています。笑顔のあいさつは、一日を気持ちの良いものにしてくれます。



五所川原市立五所川原第三中学校

生徒会執行部、部長、委員長、学級会長が実施日ごとに分散し、少人数で実施しました。



十和田市立大深内中学校

昨年度はできなかったあいさつ運動によって、朝の学校に元気が戻りました。



東通村立東通中学校

對馬さん、田中さんの2人には、あいさつ運動に参加していただき大変感謝申し上げます。コロナ禍の影響で、マスク越しのあいさつ交換でしたが、顔がしっかりと見えた状態で笑顔のあいさつができる日を楽しみにしながら…今後もあいさつ運動を続けていきます。

みんながお互いに声をかけ合う地域づくりを進めることで、子どもたちが人と人との温かな絆を感じ、命を大切にできる心が育れます。大人から率先して声をかけ、子どもたちの健やかな成長を見守りましょう!!



育てよう子どもの豊かな心

県では、青少年の健全な育成を図る上で、内容が優れた書籍、映画、演劇、団体の行う活動など有益であると認められるものを推奨しています。

青森県推奨図書



青森のトリセツ 地図で読み解く 初耳秘話

対象：小学校中学年から

著者：昭文社編集部
発行：株式会社昭文社

青森の地形や地質、歴史、文化、産業など多彩な特徴と魅力を、地図を読み解きながら紹介するマップエンターテインメント。青森の知っているようで知られていない意外な素顔に迫ります。地図を片手に、思わず行って確かめてみたくなる情報満載！



守ろう！ みんなの東北

①自然と伝統文化編

対象：小学校低学年から

著者：青木 健生(原作)
藤原 ちづる(漫画)
発行：株式会社
マイクロマガジン社

作家になることを夢見る岩手の少年・石澤研治は、ある日突然、別の世界に飛ばされてしまう。そこはなんと！妖怪やモンスターがウヨウヨするもうひとつの東北だった…。東北を救う冒険、開幕！子どもたちは、次々とおそいかかる地域問題をどう解決するのか。

ごぞんじですか？ 毎月第3日曜日は「家庭の日」です

県では、毎月第3日曜日を「家庭の日」とし、家族のぬくもりを通して絆を深める日としています。

家庭では

家族で会話したり、一緒に食事するなど、家族の絆を深める日にしましょう。

地域では

あいさつなどを通して、地域の子どもたちとのつながり、ふれあう機会をつくり、子どもたちをあたたく見守りましょう。

職場では

仕事と家庭生活の両立や、子育てを支援する働きやすい職場づくりを進めましょう。

会員募集

「命を大切にできる心を育む県民運動推進会議」では、運動の趣旨に御賛同・御協力いただける会員団体を広く募集しています。企業や任意団体、小規模のサークル等、団体の規模は問いません。会員の皆様には、御希望に応じてオリジナルステッカーの提供やイベント等で使用できるのぼり旗の貸出などを行っています。年会費等の費用負担は一切ございませんので、お気軽に下記事務局までお問い合わせください。また、本運動に対する皆様の御意見もお待ちしています。

お問い合わせ

命を大切にできる心を育む県民運動推進会議 事務局

(青森県環境生活部 青少年・男女共同参画課内)

〒030-8570 青森市長島1丁目1番1号 TEL 017-734-9226 FAX 017-734-8050

E-mail seishonen@pref.aomori.lg.jp 青森県ホームページ

命 大切

検索

